



2026－2028 年度 ネット国際プロジェクト

① ティーンエイジャーの母親のためのプロジェクト(ケニア)

「10 代母親向けスキルエンパワーメントプロジェクト」

14～28 歳の 10 代母親を対象に、構造化されたビーズ細工・手工芸訓練を通じ、市場価値のある収入創出スキルを習得させることに焦点を当てる。（ナイロビ・メトロ Y's ユースクラブ）

背景： ナイロビの低所得者地域、特にカハワ・ウエストのカマエ地区に住む 10 代の母親たちは、安定と自立を達成する能力を制限する根深い社会経済的課題に直面している。多くの場合、妊娠、社会的偏見、支援の欠如により早期に学校を中退し、正規雇用や技術開発の機会がほとんど無い状態に置かれる。その結果、不安定な人間関係や家族への依存、非正規労働に頼って生き延びるケースが多く、貧困と精神的苦痛の悪循環を招いている。これらの若い母親たちは、また、自尊心の低下、社会的排除、個人の成長を育む安全な空間へのアクセス制限にも直面している。

② カンパラのスラムで若者と若い母親をエンパワーメントするプロジェクト（ウガンダ）

カンパラ Y『s Men』s Club はコンピューターと ICT 機器

への投資を通じて、このデジタルデバイドを埋める責任を担い、疎外された若者が雇用可能なスキルを習得し、eラーニングにアクセスし、レジリエンスをこうちくすることを可能にする。コンピューターベースの職業訓練とソフトスキル研修

背景：カンパラの非公式居住区では、貧困、早婚、避難により数千人の若者が教育から排除されている。ICTへのアクセスがないため、彼らは雇用や起業における現代的な機会から切り離されたままである。デジタルリテラシーはもはや任意の選択ではなく、今日の経済に参加するための前提条件となっている。しかし、スラムの若者はコンピューターや体系的なICTトレーニングへのアクセスを欠いている。